1993年9月6日　第三種郵便物認可

自治ひょうご

1677号
2025. 7. 15
月2回（1日、15日）発行　定価10円
購読料は組合費に含まれる。
自治労兵庫県本部
書記長／尾西亮太郎・編集人／秦 信昭

発行
全日本自治団体労働組合　兵庫県本部
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/　E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

当面の日程

20日　参議院選挙投開票日
23日　人勧期中央行動（東京）
８月
１～２日　県本部現業評議会総会･各部会集会（いこいの村はりま）
２日　県本部衛生医療評議会定期総会（ひょうご共済会館）

シリーズ 尾西が斬る！ Vol.3

一刀亮談（いっとうりょうだん）

1 人勧を上回る賃金改善へ

今年の春闘では連合に結集する労働組合が、昨年に引き続き平均5％以上の賃上げを勝ち取りました。これら民間企業の実態から、8月には人事院の給与勧告が出されます。

民間企業が若手重視の賃金改善を行っていますが、この間、人事院はさらに若年層を優先した改定を行ったことで、中高年層の賃金が抑制されてきました。現在の若手職員も経験を積み、いずれは職場を中心に支える中堅職員となります。若い時は高いと思った賃金がそれほど上がらない、そんな賃金体系となっているのが現状です。

人員の確保が厳しい状況にある公務職場における賃金改善は喫緊の課題です。新規採用者の確保のための初任給改善はもちろん、早期退職を防ぐためにも全世代を対象とした賃金改善が必要です。

民間企業の大幅な賃金引き上げを受けて、今年の給与勧告も昨年並みの引上げ改定が期待されるところですが、世代間でどのような配分がなされるのか注視が必要です。

8月に人事院勧告が出されれば、いよいよ今年の賃金闘争がより具体的な取り組み段階に進みます。ただ単に人事院勧告に準拠するだけでは、人員不足の解消につながる賃金改善とはなりません。

各単組は11月の賃金確定闘争に向けて、組合員の声を集め、人勧を上回る賃金改善につながる運用改善の要求づくりを進めなければなりません。

今回のシリーズでは、賃金確定闘争に向けて、8月に出される人事院勧告の課題への対応、労使交渉の必要性や当局（首長）に向き合う基本姿勢などについて、より具体的な提言をしていく予定です。

さらに、兵庫県本部は阪神大震災から30年の節目の今年、「大規模自然災害に対応できる人員確保」をテーマに取り組みを進めています。その観点からも組合員が安心・安全に働ける職場環境の整備や賃金改善について触れていきます。

今シリーズも、今夏の暑さに負けないぐらいの熱い想いをみなさんにお届けします。お付き合いください。

保育を考えるつどい

いのちを守る保育とは

職場環境と災害対応を見つめ直す

県内各地から130人が参加

県本部保育部会は6月8日、約130人の参加のもと、ひょうご共済会館で第40回保育を考えるつどいを開催した。

阪本和秀社会福祉評議長は「阪神淡路大震災から30年が経過した。今回、その節目に過去から学び、未来に活かせる保育施設の災害対応について考えてほしい。また、健康で働き続けるための職場環境について、疑問に思うことや困りごとについて意見交換を行い、他市町の事例を参考に、今より働きやすい職場づくりのきっかけとしてほしい」とあいさつした。

記念講演ではNPO法人神戸の絆2005の大濱義弘副代表より「大震災から学ぶ」と題し、阪神淡路大震災当時の状況とその体験や教訓から、危機管理への対応、そして近未来に予想される大災害への備え、地域コミュニティーの大切さ、そして最大の課題は「命を失わないことであり、いたわりあい支え合う社会をつくっていかなければならない」との講演を受けた。

講演後は4つの分科会が開催された。「幼･保･こども園職場交流会」では、各地域の働き方や市町ごとのICT化、少子化の進行状況などについて情報交換を行った。「保育施設における災害対応」では、地震･津波･火災･不審者の侵入を想定した避難訓練や、連絡体制の確認などの取り組みが紹介された。「正規･非正規の職場改善」では、誰もが働きやすい職場環境をめざし、それぞれの職場の状況を交流した。「食育を考える」では、食事をつくる側･食べさせる側、お互いの思いや工夫を出し合い、災害時の課題について意見交換と情報共有を行った。

県本部中央委員会

組織内国会議員の重要性を共有

はじめてのウェブ開催で議論

県本部は第218回中央委員会を6月24日にウェブで開催し、組織強化や人員確保、さらには直前に迫る参院選への対応を議論した。

冒頭、山下忠之委員長は「定年延長や新規採用者の加入率低下が影響し、組合員数減少が続いている」と指摘。各単組の状況に応じた柔軟な取り組みの必要性を述べた。また、政治課題では「岸まきこは現場の課題を国会で代弁してきた。公示までわずかだが、さらに支持拡大を」と訴えた。

県本部会議室の様子

質疑では、尼崎嘱託労組の坂本夏海中央委員が夏季一時金の同率支給実現や昇給停止撤廃への取り組みを報告、高砂市職の吉田正人中央委員が、高砂市民病院の現状や、組合財政･役員不足の深刻さについて報告と提案。加西市職の上月善彦中央委員は「民間経験者の初任給における前歴換算について、どの自治体も100％換算に」と訴えた。尾西亮太郎県本部書記長は「病院経営の厳しさは全国的課題。岸さんと診療報酬引き上げを国に求める」と強調。組織課題では、役員を育てることが、市民サービスと労使関係に重要と述べた。

いまいち座

兵庫まんが集団

いつかは乗り越える！

大植 賢（豊岡市職労）

しこう

6月の梅雨明けに驚き。夏の異常な暑さを覚悟せざるを得ない。熱中症アラートの多発に皆さんの体調は大丈夫か？▼6月から労働安全衛生規則の改正で、仕事中の熱中症対策を講じない使用者には罰則規定が設けられた。そのおかげか、この夏から私の職場でも現場に出ることの多い技術職に、空調服が貸与されるようになった▼もう一つ熱いのは20日投開票の参議院選挙。6年間の政治を委ねるに値する人を選ぶ。兵庫選挙区は定数の4倍以上の13人の立候補である。表現の自由があるとはいえ、国政を任せる選挙の選挙演説で差別的発言や暴言を吐く候補者がいるのは残念だ▼私たちは生活者＋働く立場の視点で、しっかりと議員を選ぼう。一番ダメなのは投票棄権（危険）で、白紙委任状を出すようなものだ。そして2枚目の比例区は、応援する個人の名前で投票しよう（山）

労働安全衛生集会

人員確保は災害対応の要

猛暑による新たな対応も重点課題に

熱中症対策や災害対応について意見交換

県本部は6月13日、神戸市内で「2025労働安全衛生集会」を開催し、県内の各単組から32人が参加した。

集会冒頭、主催者あいさつに立った小原王之県本部副委員長は「労働安全衛生は組合にとって最重要の取り組み。特に近年の猛暑は、従来の常識が通用せず、熱中症対策など新たな対応が求められている。労働組合として、使用者に責任を果たさせるべく、引き続き声を上げていこう」と述べた。

講演では、尾西亮太郎県本部書記長が「阪神・淡路大震災から30年～災害に強い自治体の取り組み～」と題し、歴史的検証を踏まえた視点から、労働組合や自治体の役割の重要性を解説。「社会変化」「世代交代」「教訓の風化と進化」といった30年の歩みを振り返り、災害を想定した平時からの備えとして、人員の確保や退職職員の活用など、当局との継続的な協議の必要性を提起した。

講演後には、参加者によるグループワークが行われ、熱中症対策や災害対応について意見交換が行われた。

最後に、小原副委員長が集会のまとめとして「災害時の職員対応や労働条件など、さまざまな課題について情報を共有し、より良い環境づくりのために日頃から交渉を進めてもらいたい。また、神戸市が導入した夏期作業手当について、他自治体や全国でも制度化を進めてもらいたい。誰もが65歳まで安心して働ける職場づくりをめざし、各単組でさらなる取り組みをお願いする」と呼びかけ、集会を締めくくった。

県本部女子バレーボール大会

宍粟市職労が4度目の優勝

優勝した宍粟市職労

県本部女子バレーボール大会を6月14日、丹波篠山市内で開催し、各ブロック予選を勝ち進んだ県職労西播支部・宝塚市職労・宍粟市職労・丹波市職労と前年度優勝の豊岡病院労組、開催地の丹波篠山市職労の7チームが出場した。

1回戦Aコートは丹波と県職が対戦し2対0で県職労、宝塚と養父の対戦は2対0で宝塚が勝利。Bコー宍粟と丹波篠山が対戦し、丹波篠山が第1セットを先取するも、宍粟は第2、第3セットを獲得し宍粟が、また、第2試合は神戸が棄権したため、不戦勝で豊岡病院が勝利した。

準決勝第1試合は県職労と宝塚が対戦。両チーム互角の戦いで、第3セットまでもつれ込んだが、24対26で宝塚が制し勝利。第2試合は宍粟と豊岡病院が対戦。

第1セットはラリー戦を宍粟が制し、第2セットも宍粟はコートを広く使った攻撃で点数を重ねて勝利した。

決勝戦は宝塚と宍粟が対戦。第1セットから宍粟エース大前の強烈なアタックが随所に決まるなど、終始安定したプレーで着実に得点を重ね、第1セットは宍粟が勝利。第2セットも宍粟の攻防のバランスが取れたプレーを前に、宝塚はミスも重なり、宍粟が勝利し、2年ぶりの4回目の優勝を勝ち取った。

熱戦となった決勝

県本部野球大会

攻守ともに安定した神戸交通労組が優勝

6月21日と25日、県本部野球大会を佐用町の上月グラウンドと南光スポーツ公園グラウンドで開催した。各ブロック予選を勝ち進んだ県職労西播支部・神戸交通労組・三田市職労・明石市職労・稲美町職・丹波市職労と前年度優勝の宝塚市職労、開催地の佐用町職の8チームが出場した。

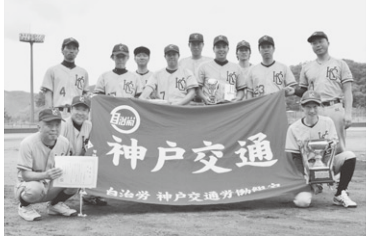
上月グラウンド第1試合は稲美と三田が対戦。三田は初回に2点先制し、4回に2点、5回に3点を追加し、7対0で勝利。第2試合は丹波と明石が対戦。3回に丹波が2点を先取するも、明石が4回に3点入れ逆転、その後両チームとも追加点を挙げ、最終的に4対3で明石市職労が勝利。

南光グラウンド第1試合、宝塚対県職は、2回に宝塚一挙に5点を取り、7対2で勝利。第2試合は佐用対神戸交通。4回に神戸交通がホームランなどで4点を先取し、最終は5対1で神戸交通が試合を決めた。

準決勝第1試合は三田と明石が対戦。無得点のまま迎えた5回、三田はスリーランホームランなどで6点を奪取。その裏、明石も3点を返し、両チームとも得点を重ね、10対6で三田が勝利し決勝戦へ勝ち進んだ。準決勝第2試合は宝塚と神戸交通が対戦。息詰まる投手戦が展開されたが、5回裏に神戸交通が2点を先取、宝塚の反撃を1点に抑え、神戸交通が決勝へ進出した。

三田と神戸交通の決勝戦、三田はピッチングが安定せず、2回に満塁のピンチを迎えた場面で神戸交通の打線がつながり一気に6点を奪われる。三田も1点を返したが、6回に神戸交通のホームランで2対9となり試合終了。神戸交通が2年ぶりの優勝を決めた。

神戸交通の攻撃



優勝した神戸交通

参議院選挙は
選挙区も比例代表(全国区)も 候補者名で投票を!

参議院の比例代表選挙のしくみ

●政党と候補者を合わせた得票数で政党の当選人数が決まり
個人名得票数の多い候補者の順に当選が決まります。